60th
拓（あきんど）く商人！ 引継（あきんど）ぐ商人！

会報
商工連とちぎ

No.386
2023新年号

URL https://www.shokokai-tochigi.or.jp

日光二荒山神社拝殿前に設置されている「良い縁うさぎ」像
日光市では6月24日、25日にＧ７男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が開催される

会長
福田 徳一 塩谷町

副会長
安藤 芳雄 岩舟町
薄井 正明 那須町

専務理事
稲葉 光二 商工連

理事
菅沼 清 足尾町
関 一男 喜連川
佐藤 幹雄 西那須野
石川 陽一 市貝町
小島 三利 野木町
三室 一男 都賀町
深津 晃 県青連
三森 節子 県女性連

監事
加藤 有氏 家
塚本 裕昭 益子町

栃木県商工会連合会
会長　福田　徳一

明けましておめでとうございます。令和５年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

我が国経済は、長引くコロナ禍に加えて、原油価格の高騰や原材料等の価格上昇、電子部品や部材の不足などで、厳しい状況が続いています。さらには、ロシアによるウクライナ侵攻など、非常に不安定な国際情勢となっております。

また、地域の多くの中小・小規模事業者は、人手不足や高齢化などの構造変化に加えて、デジタル化やＤＸの対応、カーボンニュートラル等の事業環境変化や働き方改革、インボイス等の制度改正など、様々な課題に直面しております。

きめ細やかな伴走型支援と需要の喚起を！

このような中、商工会では、融資・資金繰り、各種の給付金・支援金・協力金の申請、従業員の雇用確保対策など伴走型での様々な経営支援を全力で行い、小規模事業者の身近な相談窓口として最大の機能を発揮してきました。今後も国・県の支援策が各地域に十分に行き渡り、会員の方々が一日も早く回復できるよう関係機関と連携を密にし、商工会組織をあげて支援を行って参ります。

商工会組織がこれからも会員企業に必要とされるためには、一層、支援を充実させなければなりません。また、組織強化のためには、新規会員獲得を進め組織率を向上させる必要がありますが、県内33商工会が一致団結し、新たな未来に邁進して参ります。

本年は、長引くコロナ禍により年中行事やイベントの中止が相次いだことで希薄化した地域住民と会員事業者との関係性の回復を図り、企業マインドの向上に努めると共に、地域内の需要を喚起することを目的として県北地区１カ所と県南地区１カ所で軽トラ市の開催を計画しております。ぜひ会員皆様の参加並びにご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様並びに関係各位にとりまして、将来に希望を持って事業に取り組まれ、今年が明るい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

栃木県
知事　福田　富一

商工会会員の皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、私の所信を申し上げます。

はじめに、本年は、明治６（1873）年に栃木県と宇都宮県が合併し、おおむね現在と同じ県域の栃木県が誕生してから150年の節目の年となります。皆様と共にこの記念すべき年を迎えられますことを、大変うれしく思うところであります。

また、６月には、我が国で初めてとなるＧ７男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が本県で開催されます。この機をとらえ、栃木県の魅力・実力を広く国内外に発信し、地域経済の活性化やブランド力の向上に努めて参ります。

さて、昨年開催された「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」につきましては、本県選手団の活躍に感動と勇気をもらうとともに、県民総参加により大きな成果を収めて成功裏に閉幕することができました。今後は、スポーツを通じた地域活性化など、両大会を通して培われた有形・無形のレガシーを確実に継承して参ります。

経済発展と地域課題の解決を両立出来る社会を目指して

一方、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、保健・医療提供体制の整備やワクチン接種促進に向けた取組を着実に進めますとともに、引き続き、国や市町、関係機関等と緊密に連携し、県民の命と健康、暮らしを守るため、必要な対策に万全を期して参ります。

また、長期化するコロナ禍に加え、物価高騰などにより地域経済が大きな打撃を受けている状況を踏まえ、社会経済活動の回復に向け、各種対策に取り組むとともに、強靱で稼ぐ力のある産業基盤の確立を図って参ります。

さらに、栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」に掲げた本県の将来像「人が育ち、地域が活きる　未来に誇れる元気な“とちぎ”」を実現するため、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略にも呼応しながら、本県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生15戦略（第２期）」と連携し、プランに基づく各種プロジェクトをより積極的に展開して参ります。

特に、人口減少・少子化対策としまして、若者や女性が働きやすい環境づくりを進めるとともに、結婚の希望をかなえ、安心して妊娠・出産、子育てができる魅力ある地域づくりに取り組んで参ります。また、経済発展と地域課題の解決を両立することができる社会（Society5.0）の実現を目指し、デジタル技術の活用やデジタル人材の育成に積極的に取り組むとともに、２０５０年カーボンニュートラルの実現に向け、オール栃木体制による脱炭素化の取組を着実に進めて参ります。

社会が大きく変化する中におきましても、時代の潮流を的確にとらえ、デジタル技術も有効に活用しながら課題解決や魅力向上を図り、未来に誇れる「新しいとちぎ」づくりに全身全霊で取り組んで参りますので、県民の皆様のより一層の御理解と御支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

2023 商工会長
今年の目標・抱負

理事 菅沼 清〔足尾町〕

会員満足度と組織率の向上

専務理事 稲葉光二〔商工連〕

値上時代の到来。是非、価格転嫁を!!

副会長 薄井正明〔那須町〕

会員とともに歩む・商工会

副会長 安藤芳雄〔岩舟町〕

創意工夫で会員企業に貢献する

理事 小島三利〔野木町〕

笑顔で、1チームで乗り越えよう

理事 石川陽一〔市貝町〕

企業としてのフィロソフィを貫く

理事 佐藤幹雄〔西那須野〕

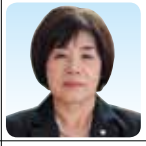
会員と共に行動そして一歩前に

理事 関 一男〔喜連川〕

『提案』と『行動』が喜連川を変える

監事 加藤 有〔氏 家〕

コロナに負けない心はひとつ 元気です氏家

理事 三森節子〔県女性連〕

輝く女性、輝く地域をつくろう

理事 深津 晃〔県青連〕

繋がりを意識した地域経済活性化

理事 三室一男〔都賀町〕

商工会なくして地方活性化なし!

下野市 長 光博

頼れる、頼られる商工会 会員満足度の向上

上三川町 鶴見秀昭

今こそ地産地消だべ 卯、卯、卯

矢板市 東泉清壽

夢と希望がある元気な街を目指す

監事 塚本裕昭〔益子町〕

会員ニーズの把握・支援の徹底

西方 山岸弘幸

守りから新たな世界の発掘旅に!

うつのみや市 間島良二

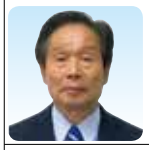
強い正義感と信念による行動力

にのみや 髙橋秀典

強い思いをもって、行動の時

粟野 井戸道廣

インボイスに対応する会員支援

石橋 吉田宗司

飛躍的に向上する商工会を目指す

壬生町 赤羽根信行

活力ある地域社会を築く

芳賀町 田川治道

LRT で目指そう活力ある商工業

茂木町 手嶋崇夫

うさぎ年、大きな飛躍の一年に

高根沢町 佐藤金司

前向きで繁盛を! 夜明けはそこだ!

藤岡町 伊藤邦夫

会員が主役の商工会を再認識する

大平町 阿部勝彦

更なる支援強化で会員増強を図る

小山市おもいがわ 大森順一

情報とサービス、そして会員増強

那須塩原市 鈴木耕二

今!会員と共に変わるときがきた

黒羽 園部賢一

地域が一つに、何をやるか!

那珂川町 薄井健博

地域活性化のために会員と共に!

那須烏山 棚橋誠一郎

飛躍へ心のベクトルを切り変える

足利市坂西 田中美雄

会員への支援強化と地域に活力を!

佐野市あそ 松本常治

会員企業の支援強化と地域力向上

湯津上 越沼哲士

挑戦する会員を後押しします

中小・小規模事業者の新たな支援ニーズに伴走支援で応える

第62回 商工会全国大会

大型経済対策の早期実施など6項目 国に対し強く要請することを決議

第62回商工会全国大会が、11月10日、渋谷のNHKホールにて開催された。全国各地の商工会長や役員等約2400人が出席、本県からは福田徳一商工連会長をはじめ70人が参加した。大会では来賓として、岸田文雄内閣総理大臣、西村康稔経済産業大臣等が祝辞を述べた。

森義久全国連会長は、会長挨拶で「商工会は、様々な各種支援策をいち早く中小・小規模事業者に届けるなど、地域の身近な相談窓口としての機能を着実に発揮してきた。

また、商工会には大きな社会的役割が期待されており、特に、ポストコロナ時代における販路開拓や第三者承継を含む事業承継支援、自然災害等に備えたリスクマネジメントなど、中小・小規模事業者の新たな支援ニーズに対し、伴走支援を通じて的確に応えていくことが求められている。今後も、商工会は唯一無二の地域総合経済団体として、地域経済の持続的かつ安定的な発展、ひいては新しい資本主義の実現にも寄与していけるよう邁進していく」と語った。

大会は意見表明に続き、6項目の大会決議を採択した後、中小企業庁長官表彰、全国連会長表彰等が行われ、本県から役員功労者など28名と事業推進優良商工会等表彰として、益子町商工会と粟野商工会が表彰された。

（受賞者名は下記に記載）

全国大会が挙行された会場内

挨拶をする森義久全国連会長

大会決議

1. 中小企業・小規模事業者の支援に重点を置いた大型経済対策の早期実施
1. 地域を支える小規模事業者に対する支援策の大幅拡充
1. 小規模事業者等に寄り添って支援する商工会の体制強化
1. 企業力向上のための税制・金融、労務支援等の制度の改正・拡充
1. リスクマネジメント支援の強化及び災害からの復興
1. 地域を支え、共に歩む唯一の経済団体としての商工会の組織力強化

晴れの表彰 28名・2団体

表彰基準日 令和4年3月31日（敬称略）

中小企業庁長官表彰

役員功労者

都賀町 理事 谷中俊太郎

全国商工会連合会長表彰

役員功労者

矢板市 会長 東泉 清壽
〃 副会長 代田 有史
〃 理事 山口 貴司
〃 理事 笹沼 守
上三川町 副会長 石塚 毅
〃 理事 宇津木 正
〃 理事 高田 和幸
下野市 理事 川俣 宜美
足尾町 会長 菅沼 清
〃 理事 齊藤 幸一
〃 監事 神山 栄司
茂木町 副会長 半田 和男
〃 副会長 河上 哲也
〃 理事 関根 良和
壬生町 理事 稲葉 俊夫
〃 理事 高田 弘
石橋 理事 竹中 宏之
小山市 理事 黒須 恒芳
おもいがわ 会長 安藤 芳雄
岩舟町 理事 早乙女かず子
都賀町 理事 植木 啓之
氏家 理事 糸井 政俊
那須烏山 理事

青年部功労者

商工会青年部連合会（岩舟町）
会長 深津 晃

女性部功労者

商工会女性部連合会（石橋）
副会長 大関 啓子
商工会女性部連合会（上三川町）
監事 中原 みゆき

優良常勤役職員

喜連川 主事 加藤 則行
商工連 主任 大塚 文徳

事業推進優良商工会等表彰

組織統一推進枠部門

（巡回訪問の実施、伴走型支援の徹底）

益子町商工会

共済部門

粟野商工会

自社の発展を通じてさらなる地域経済と社会振興に寄与

県商工会青年部連合会 設立55周年を迎え決意新たに

県商工会青年部連合会「設立55周年記念式典」が10月28日、宇都宮市の栃木県青年会館を会場に、県内商工会の青年部長らが出席して開催された。

冒頭挨拶に立った、青年部連合会の深津晃会長は、「55周年という節目にあたり、商工会青年部の使命、果たすべき役割の重要性を改めて認識し、今後とも青年部事業の一層の拡充・強化に邁進すると共に、自社の発展を通じ、さなる地域経済・社会振興に寄与していく」と挨拶した。続いて、来賓に迎えた久利生県経営支援課長、福田徳一商工会連合会長、越智俊之参議院議員（元全国商工会青年部連合会長、元広島県青連会長）が祝辞を述べた。

挨拶する深津晃県青連会長

式典では、県青連の発展並びに商工会青年部の指導育成に尽力された針谷伸一氏（第21代県青連会長）、大森伸助氏（第22代県青連会長）に感謝状が贈呈された後、深津会長により「決意表明」が読み上げられ、真の経営者となるべく努力の継続と、地域経済・コミュニティーを守り抜く決意を新たにした。

式典後の基調講演では、元兵庫県商工会青年部連合会長で、現在は全国の小規模事業者を対象に経営支援を行っている（株）アテーナソリューション代表取締役の立石裕明氏が『阪神淡路大震災で学んだ経営者として生き抜く力』をテーマに、被災により事業再生をした経験からBCP（事業継続計画）を策定するにあたってのポイント等を解説した。

被災経験をもとに熱心に語る講師の立石裕明氏

現在も新型コロナウイルス感染症の拡大が続いており、不測の事態に備えてBCPを策定しておくことが、自分の事業所や雇用、ひいては地域を守ることに繋がると語られると、青年部長らは真剣な表情で耳を傾けた。

商工3団体合同で県と県議会に要望

コロナ禍における事業者支援継続など

11月28日、県内商工3団体が、「地域経済活性化と中小企業・小規模事業者の成長・持続的発展のための要望書」を福田富一知事と山形修治県議会議長に提出した。要望書は、商工連のほか、県中小企業団体中央会（齋藤高藏会長）、県商店街振興組合連合会（長島俊夫理事長）の連名によるもの。コロナ禍における事業者支援の継続や燃料・原材料価格高騰対策等の9項目について県の支援を求めた。

福田知事は「要望書の趣旨を十分に踏まえながら県政推進に活用したい」と述べた。

要望書を提出する福田会長（一番左）

適正な事業運営を目指し 商工会監事セミナーを開催

メモを取りながら熱心に耳を傾ける各商工会の監事・事務局責任者

商工連は10月18日、矢板市の矢板イースタンホテルにおいて商工会監事セミナーを開催、各商工会の監事及び事務局責任者等65名が出席した。

セミナーでは、「より良い監査を行うために」と「監査の検証・調査項目について」をテーマに、監事の職務や監査の意義について、さらには適正な監査を行うための知識やチェックポイントなどを確認した。

商工会の販路開拓支援策「バイヤーズルーム」『審査員特別賞』受賞により新たな取引先を確保

「バイヤーズルーム」は、全国の商工会員から出品された商品を首都圏で活躍するバイヤー達が厳正な審査を行うことで、付加価値向上・販路開拓に繋げる事業である。この度、「カフェいちごや」（にのみや商工会員）が出品した「究極のいちごバター」が見事、『審査員特別賞』を受賞した。

「究極のいちごバター」
スカイベリーの甘みと、なめらかなバターとの相性が抜群。そのまま食べても美味しいと評判の究極の一品。温めたパンに乗せると、いちごの香りが一層ひきたつ。

【申請のきっかけ】

いちご農家を営む主人が生産したスカイベリーをお菓子などに加工し、4年前からキッチンカーで販売を始めました。県内外問わず多くのお客様が来店してくださる一方で、商品の卸売先が一店舗しかなく、販路開拓に悩んでいたところ、商工会からバイヤーズルーム事業の提案を頂きました。全国区にPRできる貴重な機会だと思い、出品を決意しました。

【申請の内容】

数ある商品の中から、試行錯誤を重ねて開発した自信作の「究極のいちごバター」を出品しました。糖度12％以上のスカイベリーのなかでも一番甘い部分だけを使用し、砂糖ではなくテンサイ糖を使用するなど健康にも配慮した商品です。また、包装のデザインにもこだわり、レトロで可愛らしい世界観をアピールしました。そうした特長を申請書で表現することは難しく感じましたが、詳細な部分まで商工会の職員が親身に相談に乗ってくれたので心強かったです。

【バイヤーズルームの流れ】

会員企業と商工会 → 全国商工会連合会 → 審査会 → ビジネスマッチング → 新たな販路開拓へ

- 審査会
  - 事前審査と本審査（試食・展示会）
  - 商品評価、フィードバック
- ビジネスマッチング
  - 流通業者との商談機会
  - バイヤーを通じた大手小売店等での販売機会

事業の成果について話し合う高山代表（左）とにのみや商工会職員の星野主事（右）

【販路開拓の成果】

受賞の連絡が来たときは今までの努力が報われたようで、とても嬉しく、大きな自信となりました。今回の受賞をきっかけに、那須高原SAでの販売が決定するなど、目に見える効果があり、出品して本当に良かったと実感しています。

カフェいちごや　外観
レトロで可愛らしい店舗が好評で多くのお客様が訪れる

【今後の展望】

「主人が生産した美味しいスカイベリーを多くの人に召し上がってもらいたい」その一心が原動力になっています。キッチンカーでの販売を続けながら、昨年11月に念願の店舗をオープンすることができました。店内やお庭でも飲食が可能で、DIYで造りあげた店舗には、地域の皆様や子供達が来て下さいます。今後も、皆様が楽しいひとときを過ごせるお店を目指していきたいです。

商工会では会員事業者の販路開拓を支援しています。ぜひ、ご相談ください。

「後継者がいない」「事業引継ぎに不安がある」ーお悩みはありませんか？

親族内承継、従業員承継、M&Aでの譲渡・譲受
お気軽にご相談ください。

栃木県事業承継・引継ぎ支援センターは、次世代への事業引継ぎに関する様々な課題解決を支援する公的相談窓口です。中小企業の事業承継の実務に精通した専門家が秘密厳守でご相談を承ります。
お近くの商工会または栃木県事業承継・引継ぎ支援センターにご連絡ください。

ご連絡先　栃木県事業引継ぎ　検索
中小企業の事業承継を支援する公的機関
栃木県事業承継・引継ぎ支援センター
https://tochigi-hikitsugi.jp
TEL:028-612-4338
FAX:028-612-4339
宇都宮市中央３－１－４栃木県産業会館７階

より魅力ある女性部を目指して 全女性連会長による講演会を開催

県商工会女性部連合会

令和4年度 女性部リーダー等セミナー

講演する竹中全女性連会長

商工連と県女性連の共催による「女性部リーダー等セミナー」が12月6日、ライトキューブ宇都宮において開催され、県内の商工会女性部長等75名が参加した。

セミナーでは福田徳一商工連会長と三森節子県女性連会長による挨拶があり、続いて「魅力ある女性部づくりと次世代リーダーの育成」をテーマに、全国商工会女性部連合会の竹中仁美会長（滋賀県女性連会長）による講演が行われた。

竹中全女性連会長は、地元商工会の女性部長として取り組んだ特産品開発事業や、県女性連会長として推進した「女性連ビジョン・アクションプラン」を紹介し、部員のモチベーションアップや事業の活性化、リーダー育成に効果があったことなどについて、事例を交えて説明した。

コロナ禍の今、女性部としてできることやあるべき姿を改めて考える機会となり、参加者は竹中会長の熱のこもった講話から今後の女性部活動のヒントを得た様子であった。

竹中全女性連会長と三森県女性連会長を中心にリーダー達が集う

軽トラ市〝で顧客創造目標2万人
支援意識と技術の向上を目指したセミナーを二回開催

コロナ禍で変化した消費行動やライフサイクルはなかなか元に戻らないと言われている。この中で売上を確保するためには、自社の強みを活かしながら市場や顧客のニーズに合わせて、提供する商品・サービスや売り方を変化させることが必要だ。〝軽トラ市〝はこの課題解決策の一つとしては、新商品のテストマーケティングや顧客の生の声を直接吸収できる実践的な販路開拓の場と言える。

このため商工連ではより成果が高まるよう、事業研究セミナーを二回にわたって開催した。

一回目は各商工会の役員にも参加を呼びかけ「軽トラ市が地域を変える～データでみる軽トラ市」をテーマに開催。愛知大学地域政策学部の戸田敏行教授が、出店者における普段の商売面への影響や考え方の変化などの分析結果を具体的に示しながら、軽トラ市の効果を解説した。

軽トラ市の効果に耳を傾ける商工会役員と職員

二回目は、会員の支援を担当する職員を対象に「新商品・サービス開発と販路開拓支援技術の向上」をテーマに開催。（独）中小企業基盤整備機構で中小企業支援アドバイザーを務める藤本隆幸氏が、顧客との接点の作り方、商品の特徴やこだわりを消費者の心に「刺さる言葉」で表現する必要性、さらには職員にはそれらを実践の場で支援することが求められていることなどを熱く説明した。

商工連では、来年度「商工会員全体で新たな顧客を2万人創造する」をスローガンに掲げ〝軽トラ市〝をプラットホームにした事業を展開し、新商品開発や売上確保を支援していく予定だ。

県中小企業者物価高騰等対策支援金

原材料等の価格高騰や円安の影響を受け、厳しい状況にある県内中小企業者に対し、支援金が支給されます。詳しくは、県または商工会にお問い合わせください。

支給対象（主な要件）

栃木県内に主たる事業所を有する中小企業者であり、次の①と②の要件をどちらも満たすこと

要件①
対象月の原材料価格、仕入価格、電気代、ガソリン代等の経費が、基準月と比べて10%以上増加

＋

要件②
対象月の「売上高」又は「付加価値額」の合計が、基準月と比べて30%以上減少
※付加価値額：営業利益+人件費+減価償却費

対象月：2022年4～12月のうち、任意の3か月
基準月：2019年～2021年のうち、いずれかの年の対象月と同じ3か月

支給限度額 ※1事業者1回限り

中小法人等 20万円　個人事業者 10万円

支給額 ＝基準月の「売上高」の合計－対象月の「売上高」の合計
※要件②の確認で「付加価値額」を用いた場合、「売上高」に代えて「付加価値額」を使用

〝商品の魅力を大消費地で発信〟

ニッポン全国物産展

全国商工会連合会主催の「ニッポン全国物産展」が11月18日（金）から20日（日）にかけて東京の池袋サンシャインシティで開催された。

この事業は大消費地である首都圏において展示販売会を開催することで、中小・小規模事業者が開発した商品のPRや販売力の向上等を目的としている。

新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、全国から132事業者が出展。3年ぶりに試食販売が可能となり、フードコートのスペースも拡充された。

本県からは、㈲とん太ファミリー（益子町）が出展し、自家製ソーセージを使用したホットドッグの「とん太ドッグ」等を販売した。「出来立て熱々の商品を提供することで美味しさを伝えることができた」と消費者の反応を直に感じられたようだ。

商工会地域の事業者にとっては都心でPRできる貴重な場となっている。出展をきっかけに、販路開拓に繋がることを期待したい。

実演販売により多くの関心を集めた

とちぎの元気な森づくりをみんなで応援しよう

とちぎの元気な森づくり県民会議等事業では、「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継いでいくための県民運動や、事業の普及啓発活動等を行います。

詳細・活動内容等について、QRコードからぜひご覧ください。

小規模事業者持続化補助金による販路開拓支援

インボイス転換事業者向け新設

免税事業者からインボイス発行事業者に転換する事業者（インボイス転換事業者）に対し、令和４年度第２次補正予算実施分から、全ての申請枠で補助上限を一律50万円上乗せします。
（最大250万円補助）※詳細は今後公表される公募要領を必ず確認してください。

スケジュール	令和４年度	第11回：令和５年２月下旬
	令和５年度	令和４年度第２次補正予算成立後、公募開始（転換事業者向け開始）

１．補助対象者

商工会地域で事業を営み、常時使用する従業員数が下記の事業者

・商業、サービス業（宿泊業、娯楽業を除く）：５人以下
・上記以外の業種　：20人以下

２．補助対象事業

販路開拓を目的とした、店舗改装、広告掲載、展示会出展費用　など

【事例】　蕎麦屋が地元特産のかき揚げをセットメニューに追加するため高性能フライヤーを導入。新規顧客の増加、顧客単価アップを目的として地元メディアに広告を出稿。

３．補助上限、補助率

赤枠内がインボイス転換事業者向け

申請事業者	申請類型	補助上限	補助率
インボイス転換事業者	通常枠	100万円	2／3 ※賃金引上げ枠の赤字事業者については3／4
	賃上げ・卒業・創業・後継ぎ枠	250万円	
上記以外の事業者	通常枠	50万円	
	賃上げ・卒業・創業・後継ぎ枠	200万円	
	インボイス枠（2023年２月まで）	100万円	

発行所／栃木県商工会連合会　☎028（637）3731
印刷／株式会社松井ピ・テ・オ・印刷